後輩たちへのエール！　その41

2020年6月23日

夢に向かって、一歩踏み出そう

◇今回は、八木順一朗さん（芸能プロダクション勤務、映画監督）をお送りします！

高校の三年間は、特別な時間でした。
僕は高校時代、映画監督という夢に向けて、突き進みました。仲間を集めてハンディカムで映画を撮り、文化祭で上映したりしていました。「自分の好きなことだけやって！」そう非難されたりもしました。

今の時代、空気を読んだり、自粛をすることが美しいように言われます。でも、そんなことはありません。勉強も、部活も、遊びも、恋も、自分がやりたいことを、全力でやりきってください！そうすれば、自ずと自分の夢への準備は整います。三年間の経験は、血となり、永遠に身体を流れ続けます。

さぁ、時間はありません！夢に向かって、一歩踏み出しましょう！

映画情報はこちらです。
https://motion-gallery.net/projects/minoriyuku
https://www.youtube.com/watch?v=GDXddnKL58s&feature=youtu.be

八木順一朗さんの紹介

1988 年生まれ。関高等学校出身。
幼少期に観た怪獣映画の影響で、映画監督を志すようになる。
中学２年で、家庭用ハンディカムを用い、初めて映画を制作。
以降、高校卒業までに計 13 本の作品を制作する。
その後、日本大学藝術学部映画学科監督コースに進学。
大学の卒業制作で監督した映画を機に、現在の勤務先 株式会社タイタンに入社。
以降、爆笑問題、橋下徹、辻仁成、太田光代などのマネージャーを務める。
2016 年には、マネージャーとしてテレビ朝日「お願い!ランキング ゴジラファン No.1 決定戦！」に出場。視聴者投票でゴジラファン１位の座を獲得した。

同じ頃、社内での映像制作事業に着手。日本エレキテル連合、脳みそ夫、まんじゅう大帝国など、若手芸人のライブ映像や、DVD 収録用のショートフィルムを制作し始める。
2016 年以降は、NHK「みんなの 2020！バンバンジャパーン！」TBS「一番だけが知っている！」テレビ東京「新・美の巨人たち」など、社外のテレビ番組の制作ディレクターとしての活動をスタートさせる。
2018 年「第３回 MI-CAN 未完成映画予告編大賞」で、監督作「実りゆく長野」が堤幸彦賞を受賞、その後本編の制作が決定した。本作が、念願の初監督作品となる。

【経歴】※抜粋
2015 年　辻仁成監督「TOKYO デシベル」　アシスタントプロデューサー
2015 年　「瞬間メタルの男のショートフィルム」シリーズ　脚本 / 監督
2017 年　太田光監督「クソ野郎と美しき世界　episode3 光へ、航る。」
アシスタントプロデューサー
2017 年　NHK 教育「みんなの 2020！バンバンジャパーン！」
内ショートフィルム　脚本 / 監督
2018 年　MI-CAN 映画祭「実りゆく長野」 脚本 / 監督
2019 年　テレビ東京「新・美の巨人たち」ディレクター
2019 年　日本エレキテル連合単独公演「君莫笑」ビジュアルディレクター
2019 年　映画「実りゆく」　脚本 / 監督
2020 年　映画「実りゆく」公開予定